

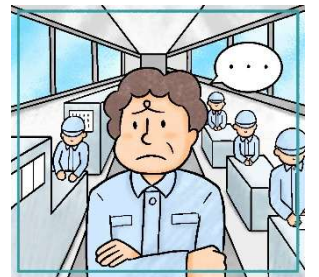
立春から88日目にあたる「八十八夜」は5月の季語です。「米」という字を分解すると「八十八」になるため八十八夜は豊作を願う縁起の日とされていますが、この日に新茶を飲むと長寿になれるという噂もあります。新茶一杯で不老不死になれば安いものですが、まずは新茶を飲んで5月の眠気を吹き飛ばしましょうか。

## 社労士がズバリ! 職場のQ&A

### 今月のQ&A：【年次有給休暇の計画的付与について教えてください】

**Q** 機械部品加工業を営んでいます。15名の社員について年次有給休暇を5日取得させようと取り組んでいますが、取引先からの急な依頼に対応しているため、従業員の希望に任せていると期末に着実な取得ができていないか不安になります。計画的に取得させたいのですが、どのような方法で取り組めばよいのでしょうか。

**A** 2025年の厚生労働省の調査データでは、年次有給休暇の計画的付与制度がある企業割合は約4割で、付与日数は5日から6日が多いようです。計画的付与を実施するためには、そのための労使協定の締結が必要です。具体的な付与の方法としては、会社全体で休業する一斉付与方式、チームやグループ別に交替で付与する方式、年間計画表による個人別付与方式が考えられます。土曜日、日曜日が原則休みで稼働日がカレンダーなどで決めてある製造業では一斉付与方式が有効だと思いますが、取引先の急な要請に対応する必要が多い企業では、上記の3つの方式を組み合わせるとよいでしょう。



## 光を放つ 名言コラム

### 【「五秒で忘れる」と言い聞かせる】

「嫌なことは五秒で忘れます」。PR会社サニーサイドアップの創業者で、現在は「おせっかい協会」会長の高橋恵氏が、月刊誌『PHP』のインタビュー記事でそう話していました。「忘れられなかったら“五秒で忘れる”と自分に言う。まだ忘れられなかったら、また言い聞かす」のだそうです。

「嫌なことは五秒で忘れる」という記事の見出しを見て、成功者はやはり割り切りがいいのだろう、うらやましいかぎりだと思ったのですが「五秒で忘れる」ように繰り返し言い聞かせるというくだりを読んで気付きました。高橋氏は元々あっけらかんとした、こだわらない性質というより、嫌なことは考えてもどうにもならない、であれば忘れよう、と考えて訓練の結果、「忘れる」人になったのではないかと。であれば、身につけたい性質があれば、身につくまで訓練すればいい。自分を育てるとはこういうことを言うのかもしれない。

## 気軽にLet's 英会話

### 今月のキーワード：【alert】

5月から防災気象情報が変わり、警報に「警戒レベル」が付記されます。一目で分かる表示はいいですね。「気象警報」は“weather alert”です。「ウエザー」も「アラート」も日本語で見聞きする言葉ですね。“alert”は形容詞では「油断のない・注意を払う・機敏な」などの意味があり、“An alert guard stopped the robbers.”は「警戒していた警備員が強盗を止めた」、「Stay alert when you drive!」「運転中は注意して!」、「He's an alert baby!」「敏感な赤ちゃんだ!」のように使います。

ゆで卵やチーズ、よく熟れたアボカド、ケキなど包丁で切ると潰れてしまうものは、ピンと張った裁縫糸で上から一気に押し切ってみてください。断面が驚くほど美しく仕上がります。フルーツサンドで萌え断（映える断面）を作りたいときに重宝します。



# ユウタとゴハル

画：ゴハチ



## 振り向けばあそこにも「商売のヒント」

### 今月の商売のヒント：【どこを削るか。何を残すか】

ベテランの木工職人が弟子に言ったそうです。「一流の仕事は、どこを削るかに出る」。これは商売にも似たような側面があります。



新しい事業、新しいサービス、新しい人材など、経営者であれば「足す」ことへの嗅覚は自然と磨かれていきます。成長への欲は経営者の本能のようなものです。同業他社が新しいことを始めたと言けば気になるし、取引先に新商品をすすめられれば断りづらく、気づけば手を広げすぎていた。そんなこともあるでしょう。ところが「やめる」となると途端に足が重くなるのも事実です。長年続けてきた事業、古くからのお客さま、なじみの取引先、共に苦勞してきた社員がいる部門部署。そこには決して数字だけでは測れない歴史があります。「やめる」という判断は、その歴史ごと否定するような罪悪感を伴い、だからこそ多くの経営者は薄々気づきながらも決断を先送りにしてしまうのです。しかし、それは弱さではなく、むしろ誠実さの表れだと思います。ただ、誠実さと執着は、ときに見分けがつかえません。続けることが「責任」なのか、それとも「慣性」なのか。その境界線は外からは見えづらく、自分でも気づきにくいものです。「これは誰のために続けているのか？」そう自問したとき答えがずっと出てこないなら、それは「何かを削る」引き算のサインかもしれません。どこを削るか。何を残すか。余分を削り落とすことで作品の完成度を際立たせる木工職人ように、商売もまた、やめる決断の先に会社の本当の姿が浮かび上がることがあるかもしれません。削った先に何が残るか。何を残したいか。その問いが次の一手でしょう。

## ナットク！ 気になっていたあの言葉

### 今月の気になっていたあの言葉：【APF（通年エネルギー消費効率）】

エアコンの1年を通した省エネ性能を示す指標。消費電力1キロワット当たりの冷暖房能力を示し、数値が大きいほど省エネ性能が高い。2027年度から市場で最も省エネ性能が高い製品を基準として、メーカーにその達成を義務付けるトップランナー制度により基準が大幅に強化され市場に影響を与えると予想されている。

事務所公式LINEを始めました。  
法改正など必要な情報を短い動画で配信していきます。  
ぜひ登録してください！



就業規則・給与計算・有休の相談などなら  
社会保険労務士・行政書士 中奥事務所

〒668-0024  
兵庫県豊岡市寿町5-3  
電話：0796-24-8677  
FAX：0796-24-8678

